

令和5年度 学校評価 自己評価書（3学期）

1 学校の重点目標

1 確かな学力の育成 (1) 基礎基本の定着 (2) 学習習慣の確立 (3) 「思考力」「表現力」を伸ばす指導法の改善
2 豊かな心の育成 (1) 道徳教育の充実 (2) 人権教育の充実 (3) キャリア教育の充実 (4) 特別支援教育の充実
3 健やかな心身の育成 (1) 基本的な生活習慣の定着 (2) 学校体育の充実 (3) 健康教育・食育の推進
4 家庭・地域との連携 (1) 家庭・地域・学校の連携 (2) 地域への情報発信 (3) 地域行事等への参加 (4) 家庭教育力の向上

2 課題と改善策

(4：できている 3：どちらかというできている 2：どちらかというできていない 1：できていない) *平均表示

	評価項目	職員	評価結果と改善策
学校経営	1 校訓に基づいた生徒の育成と一人ひとりの個性を生かした学級・学年・学校経営	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 全職員がベクトルを揃えた指導が行われるように、各種委員会での共通理解を徹底した。 グランドデザインを意識した目標や具体策の作成と実現に向けた取り組みを推進できた。
	2 学校教育目標の実現に向けた教育活動や研究主題に沿った具体的な取組	3.2	
	3 重点目標を把握し、めざす生徒像とめざす教師像の実現に向けた取り組みの推進	3.1	
確かな学力の育成	1 学習習慣の確立を意識した授業展開(授業開始と終了時間の徹底)	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 授業開始と終了時間を徹底して守らせることができた。 ICT機器の効果的な活用を目指した職員研修の充実を図り、教科内での実践を推進した。 ロイロノート等を活用し、発表しやすい授業づくりを推進した。
	2 主体的・対話的で深い学びのある授業の推進と積極的な発表を取り入れた授業展開	3.0	
	3 基礎基本の定着を図るための家庭学習への手立て	2.9	
	4 個に応じた授業づくりや授業改善	3.0	
	5 生徒のICT機器の活用能力を高める授業の推進	2.9	
豊かな心の育成	1 日常生活における言動など、教職員としての人権意識の高揚	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修や職員会議等を通して、職員間の人権意識の高揚や道徳教育のスキルアップを図ることができた。 引き続きアンケートや面談・相談を通じた生徒理解を深め、キャリア教育の充実につなげた。 特別な支援を要する生徒への指導を徹底するために、情報共有と指導の向上を図った。
	2 道徳教育の充実と差別やいじめを許さないという雰囲気作り	3.4	
	3 全教育活動を通じた特別活動の充実	3.0	
	4 学級活動の計画的・系統的な指導の充実	2.9	
	5 キャリア教育を意識した進路指導の充実と、将来への目的意識の育成	3.1	
	6 特別支援教育の充実と支援を要する生徒への指導の徹底	2.9	
健やかな心身の育成	1 基本的な生活習慣の定着と良いあいさつの励行	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の定着を図るための工夫改善を継続した。 心の健康教育の全校体制での取組を推進した。 SC等の活用を更に推進した。 清掃指導の見届けを徹底した。 毎週月、水、金に実施した「朝の体力作り」により、心の健康教育と運動の習慣化を全校体制で取り組んだ。
	2 厳しさと温かさを意識し、情報共有に基づいた組織的な生徒指導	3.2	
	3 いじめや問題行動等(不登校傾向生徒の悩みなど)の早期発見・早期対応	3.4	
	4 具体的な清掃指導と見届けや確認	3.0	
	5 身の回りの整理整頓や校内の設営物等の工夫と改善	3.2	
	6 体力向上や望ましい食習慣の形成など、健康保持・増進・育成の指導	3.0	
	7 安全点検の充実や積極的な登下校、防火・防災指導	3.0	
家庭・地域との連携	1 家庭や地域及び関係機関との連携を意識したPTA活動	3.0	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ協議会や町づくり協議会との連携を積極的に推進した。 学級通信や学校だよりの充実を目指した改善を図った。 HIPを通じた情報発信の充実を推進する。
	2 家庭や地域への理解を図るため、積極的なコミュニケーションや通信等による情報発信	3.0	
	3 保護者の不安や悩みに応える教育相談や家庭と連携した基本的な生活習慣の育成	3.0	

服 務 規 律 ・ 厚 生	1 交通ルールの遵守や体罰厳禁, 適正な会計事務処理	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 服務規律の厳正確保を目指し, 新聞記事等を活用した職員への情報発信の充実を図った。 ・ 報告等の期限厳守について徹底を図った。 ・ 校務分掌に基づいた業務運営の効率化に取り組む。 ・ 情報共有をしやすい雰囲気づくりに取り組んだ。
	2 ストレスチェックや健康診断, 人間ドック受診の活用による心身の健康管理及び増進	3.2	
	3 働き方改革を意識した土曜授業の振替の完全取得や積極的・計画的な年休等の取得	2.9	
	4 協働・参画意識をもった業務運営の効率化	3.1	
	5 困りごとや悩みごとを相談できる人間関係づくり	3.0	

3 次年度に向けての取組

- 鹿児島学習定着度調査の結果を全職員で分析し, 基礎的・基本的な知識, 技能の定着を図る。
- 生徒が主体的に授業に取り組み, 積極的に発表する授業展開に取り組む。
- 生徒指導では, 組織的な生徒指導体制を確認し, 個別指導の充実を図る。
- 生徒会活動の活性化に取り組み, キャリア教育での実践の充実を図る。
- 朝の体力作り等の取組を継続し, 体力向上と心の健康に向けた学校体育の充実を図る。
- タブレット活用の充実に向けて, 全教諭による指導の実践を図る。
- 地域協議会等への参加と積極的な情報発信をとおして, 地域との更なる連携を進める。
- 服務規律の厳正確保に向けて, 1Action・1Try を意識した校務遂行を更に推進する。